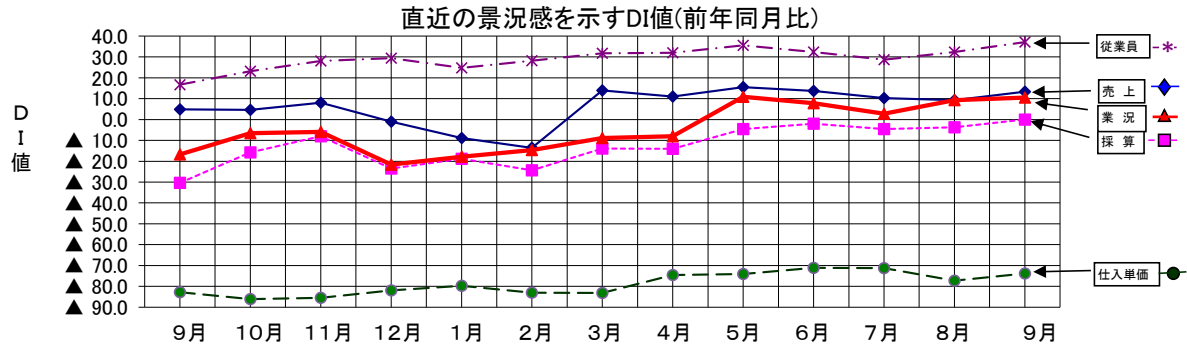


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 9月分

【9月の概要】「採算」がマイナス水準を脱するも、記録的な猛暑に加え、長引く人手不足やコスト高により、苦しい状況が続く

直近の景況感を示すDI値は、全ての項目で上昇し、「採算」は21か月ぶりにマイナス水準から脱した。また、先行き見通しを示すDI値は、「売上」で6.2ポイントの改善を示す一方、「仕入単価」は2か月連続で悪化した。

コメントでは、一部好調を示す回答が見られるものの、エネルギーコストの高騰や、人手不足の深刻化、加えてコロナ再拡大など、依然として後ろ向きな回答が多い。また、この夏の記録的な猛暑により、青果物の出荷や来店客数の減少などの悪影響が出ている。10月からのインボイス制度開始や最低賃金改定もあり、引き続き苦しい状況が続くことが予想される。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2022年 9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	2023年 9月
売上	4.9	4.6	8.0	▲ 1.0	▲ 8.9	▲ 13.6	13.9	11.0	15.5	13.7	10.2	9.3	13.3
採算	▲ 30.4	▲ 15.7	▲ 8.0	▲ 23.5	▲ 18.8	▲ 24.3	▲ 13.9	▲ 14.0	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 4.6	▲ 3.7	0.0
業況	▲ 16.7	▲ 6.5	▲ 6.0	▲ 21.6	▲ 17.8	▲ 14.6	▲ 8.9	▲ 8.0	10.9	7.8	2.8	9.3	10.5
仕入単価	▲ 82.8	▲ 86.1	▲ 85.5	▲ 81.9	▲ 79.7	▲ 83.0	▲ 83.2	▲ 74.5	▲ 74.1	▲ 71.1	▲ 71.3	▲ 77.3	▲ 73.8
従業員	16.7	23.2	28.0	29.4	24.8	28.2	31.7	32.0	35.5	32.4	28.7	32.4	37.1

- ・プラス幅が増加したDI値：売上4.0ポイント、業況1.2ポイント、従業員4.7ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：採算3.7ポイント、仕入単価3.5ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
7月	16.7	11.1	2.8	▲ 34.3	32.4
8月	15.7	6.5	9.3	▲ 48.2	36.1
9月	21.9	7.6	7.6	▲ 50.5	35.2

- ・見通しが改善したDI値：売上6.2ポイント、採算1.1ポイント、▲従業員0.9ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：業況▲1.7ポイント、仕入単価▲2.3ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	建リフォーム	売上は前年より伸びているが、ガソリンや原材料の高騰が重なり利益率を圧迫している。
	管工事	社内でコロナ感染者が増えてきており、業務に支障が出始めている。
製造業	製菓	円安進行の影響による輸入原料の値上げに困惑している。
卸売業	青果	災害級の高温、雨のない夏により青果物の出荷が極めて少なく、品質も悪い。
	コーヒー	お盆期間中の各地の観光地は活況を呈しているが、反動が懸念される。
小売業	印刷	7月までは順調に推移していたが、暑さで来店客数が減り、売上が下がった。
	ホームセンター	円安進行やエネルギーコストの高止まりを受け、消費の優先度が低い耐久消費財の販売苦戦は続くと思われている。
サービス業	ホテル	稼働はコロナ前水準まで回復しているが、慢性的な人手不足は解消されていない。
	タクシー	10月からの最低賃金の見直しにより、業績の悪化が心配される。
	ソフトウェア	経済活動の活発な動きが見受けられる一方、電子帳簿、インボイスによる作業負担、仕入高、人件費高騰に悩まされる。